

法然院

当寺は常念仏の仏院にして、寂莫として其殊勝なること感ずるに余あり。さるゆゑに京師の俗、この寺に詣て亡霊の吊らひを営むもの多し。これを世に鹿が谷の施餓鬼といふ。

はげしくもあらし吹おろすししが谷吼るや松のひびきなるらん・渡里忠秋